

令和8年度

加茂小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○伝え合い、学び合う(主体的・対話的で深い学び)授業を実現する教師の授業力向上
○本が好き、読書が好きな子どもの育成

校長

高原 俊英

学力向上推進員

久原 有里

【各校の取組状況の把握について】

職員室での教職員の会話の中で、それぞれの取り組み状況について随時話し合う。
管理職による日常の授業参観の中で、取り組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業態度が良く、与えられた課題に取り組むことができる児童が多い。 ●基礎的・基本的な知識・技能の定着に差があり、読み・書きに課題がある児童が多い。	・習得した知識や技能を他の学習場面や生活場面で活用することができる。	・ペアやグループでの学習活動で、習得した知識や技能を伝え合う機会を効果的に設定する。 ・ICTを活用し、児童同士が考えを共有したり、教え合ったりする機会を増やす。 ・他学年、他教科の教員が相互に授業を参観する機会を設定する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○発表しようという意識が高く、自分の考えや意見を伝えようとする姿が見られる。 ○友だちの良い考えを取り入れて活用しようとする児童がいる。 ●必要な情報を精選し、活用することが難しい。 ●文章読解力が低く、問題を読んで考えることに課題のある児童が多い。	・理由や根拠を明らかにして、自分の考えを伝えることができる。 ・対話を通して、自分の考えを広げ、仲間とともに課題を解決できる。	・「話し方・聞き方」のモデルを可視化し、「～さんに付け足します」「～さんと違って」などのつなぎ言葉や「なぜそう考えたの?」「もう1回説明して」などの聞き返し言葉を日常的に使えるようにする。 ・ICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。 ・モジュール学習で、新聞等を活用し、条件をもとに文章を要約する練習の機会を設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習準備を整えて、意欲的に授業に取り組む児童が多い。 ○児童同士で教え合いや助け合いができるなど、協働して学ぶ態度が身に付いている児童もいる。 ●自分から新たな課題を見つけたり、困難な課題に挑戦したりすることに課題がある。	・分からないことや難しい課題に直面しても、あきらめずに仲間と協働して、解決しようとする事ができる。 ・友達との対話や授業の課題をきっかけに、進んで読書をし、情報を集めることができる。	・ポジティブ行動支援で、学習準備や学習規律などを整える。 ・「分からない」「迷っている」を価値づけ、困った時にいつでも他者を頼れる学級づくりをする。 ・読書タイムを確保をしたり、町立図書館と連携を図ったりしながら、読書ゆうびんやビブリオバトルなど友達と「つながる読書」を進められるようにする。			